

# コーフボール

コーフボールは、1902年にオランダで生まれたニュースポーツです。教師のニコ・フロークフィセ氏が、少年と少女が混合で楽しめる屋外スポーツとしてバスケットボールのルールを基に考案しました。「コーフ (Korf)」はオランダ語で、「バスケット (籠)」を意味します。ゴールの周り360度どこからでもシュートが打てるため、スペースの使い方がポイントになります。また、ドリブルが禁止されていることによってパスを出す相手をしっかり探せるため、「空間的知覚」を学習するスポーツとして適しています。

平成30年6月27日 (水) 機能開発科：保健体育

足立区・オランダ連携プロジェクト (GAME CHANGER) で、コーフボールの指導者であるドルフ・ナイフルック氏を講師としてお招きしました。ドルフ先生からは、「とにかくコーフに向かってシュートをする」ことが大事だと教わりました。生徒たちは、コーフボールの楽しさに触れ、高さ3.5mのゴールに対して繰り返しシュートをしていました。



直径40cm  
のコーフと  
直径22cm  
の公式球

